

安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 09. 08. 2024

製品: Anisaldehyde / アニスアルデヒド

バージョン: 11.0

(30035186/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Anisaldehyde

アニスアルデヒド

用途: 化学品, 界面活性剤用化合物, 石けん、界面活性剤及び化粧品用化合物

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分5 (経口)

生殖毒性: 区分2 (生殖能力)

生殖毒性: 区分2 (胎児)

水生環境有害性 短期 (急性): 区分3

水生環境有害性 長期 (慢性): 区分3

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H303	飲み込むと有害のおそれ。
H361	生殖能への悪影響のおそれの疑い。胎児への悪影響のおそれの疑い。
H402	水生生物に有害。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

注意書き（応急措置）:

P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。
------	---

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

4-メトキシベンズアルデヒド

CAS番号: 123-11-5

化審法: (3)-2661

労働安全衛生法: (3)-2661

GHS分類に寄与する成分

4-メトキシベンズアルデヒド

含有量 (W/W): $\geq 75\%$ - $\leq 100\%$

CAS番号: 123-11-5

化審法: (3)-2661

労働安全衛生法: (3)-2661

急性毒性: 区分 5 (経口)

生殖毒性: 区分 2 (生殖能力)

生殖毒性: 区分 2 (胎児)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

p-(メトキシメチル)アニソール

含有量 (W/W): $> 0\%$ - $< 0.3\%$

CAS番号: 1515-81-7

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

化学式: C₈ H₈ O₂

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 泡, 二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

炭素酸化物, 有害な蒸気

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。容器を噴霧水で冷却する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。十分な換気を確保すること。蒸気／スプレーを吸入しないこと。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。製品を水路や下水道に漏洩させた場合には、役所に報告すること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤（例：砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般用途のバインダー、おが屑）で吸着させる。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。清掃作業は、呼吸保護具を着用して行なうこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。適切な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。容器は密閉して保管する。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。

[保管]

酸および酸を生成する物質から離しておくこと。

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。窒素ガス雰囲気での保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機化合物（沸点65°C以上）のガス／蒸気用ガスフィルターEN 14387 A型

[手の保護具]:

長時間の直接接触でも問題ない素材（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること。）：

フッ素ゴム（FKM）、肉厚0.7 mm

ブチルゴム（ブチル）、肉厚0.7 mm

短期間の接触に適した素材（保護指針2に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1で、透過時間は30分以上であること。）

ニトリルゴム（NBR）、肉厚0.4 mm

ポリ塩化ビニル（PVC）、肉厚0.7 mm

クロロブレンゴム（CR）、肉厚0.5 mm

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。いかなる場合にも、この製品を妊婦の皮膚に接触させたり、妊婦に吸入させたりしてはならない。妊娠の可能性のある女性は、本品に接触してはならない。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

液体

色:

淡黄色

臭い:	アニス果実の臭い	
pH:	7.0	
融点:	0 ° C 文献データ	
沸点:	250 ° C (1,000.1 hPa)	(その他)
引火点:	124 ° C	(DIN 51758)
可燃性 (固体/ガス):	ほとんど可燃性でない	(引火点から導き出した)
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。、爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。	
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
自然発火温度:	220 ° C	(DIN 51794)
熱分解:	約 280 ° C	(DTA (differential thermal analysis : 示差)
自己発火性:	温度: 20 ° C 構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	該当しない、製品は液体である。	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	
火災を引き起こす性質:	構造的特长に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	
蒸気圧:	0.0285 hPa (20 ° C)	(測定)
密度:	1.123 g/cm ³ (20 ° C, 1,013 hPa) 文献データ	
相対密度:	1.123 (20 ° C, 1,013 hPa) 文献データ	
相対ガス密度 (空気):	4.69 (20 ° C) 空気より重い。	(算出)

水に対する溶解性:	文献データ 2 g/l (20 ° C)	
水混合性:	混合不可	
溶解度 (定性的) 溶媒:	有機溶媒 可溶	
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow) :	1.56 (25 ° C; pH: 7.9 - 8.3)	(OECDテストガイドライン 107)
吸着/水-土壌:	KOC: 10; log KOC: 1	(算出)
表面張力:	化学構造に基づき、表面活性は期待できない。	
粘度:	4.22 mPa. s (25 ° C) 文献データ	
モル質量:	136.15 g/mol	

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

直射日光を避けること。製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 約 280 ° C (DTA (differential thermal analysis : 示差))

[混触危険物質]:

酸

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

有害な分解物はなし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 3, 210 mg/kg (BASF試験)

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮): > 5, 000 mg/kg (その他)

急性毒性の評価

単回の摂取であれば、低毒性である。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

実験または計算によるデータ:

マウスの局所リンパ節試験 (LLNA) マウス: 感作性なし (OECDテストガイドライン 429)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

微生物および哺乳類の培養細胞を用いた試験では、変異原性作用はほとんど見られなかった。In vivo試験においても変異原性作用は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

データなし。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物実験の結果から生殖能力への悪影響が示唆されている。

発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性/催奇形性の兆候が認められた。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

動物実験によると、この物質を高濃度で反復経口投与すると精巣に障害を及ぼす可能性がある。入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。水生生物に有害。長期継続的影響によって水生生物に有害。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) 148, 32 mg/l, ウグイ（学名 *Leuciscus idus*）(DIN 38412 第15部, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 82. 8 mg/l, オオミジンコ（学名 : *Daphnia magna*）(EU指令 79/831/EEC, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

水生植物:

EC50 (72 h) 81. 11 mg/l (成長率), 緑藻（学名 : *Scenedesmus subspicatus*）(DIN 38412 第9部, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

微生物/活性汚泥への影響:

EC20（20%影響濃度）(30 min) 450 mg/l, 活性汚泥 (DIN EN ISO 8192, 好気性)

魚類に対する慢性毒性:
試験は、科学的に正当化されていない。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日), 0.71 mg/l, オオミジンコ (学名: Daphnia magna) (OECDテストガイドライン 211, 半止水式)

陸生生物に対する毒性の評価:
陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。
試験は、科学的に正当化されていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:
水面から大気中に揮発しない。
土壌の固相には吸着しないと考えられる。

残留性・分解性

除去情報:
90 – 100 % DOC減少 (28 日) (OECDテストガイドライン301E、92/69EEC, C. 4-B) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥)

水中での安定性評価:
急速分解性を示すため加水分解は予想されない。

総パラメーター

化学的酸素要求量 (COD) : 2,020 mg/g

生物化学的酸素要求量 (BOD) : 1,510 mg/g

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への著しい蓄積はないと考えられる。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):
本製品は有機ハロゲンを含有しない。

13. 廃棄上の注意

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

指針番号: 171

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 09. 08. 2024

製品: Anisaldehyde / アニスアルデヒド

バージョン: 11.0

(30035186/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

消防法

消防法 第4類 引火性液体

03 2004

指定数量: 2000 リットル

III

第4類第3石油類・非水溶性

米国クリーニング協会 (ACI) 製品成分リスト

ACI Ingredient Inventory (US)

09 2012

該当物質

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

本安全データシートは平成20年11月18日付け改正化学物質排出把握管理促進法に基づき改訂済み。

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253: 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。